

愛ちゃん と 希望くん



やわたはま

社協だより

63

平成 28 年 8 月 1 日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙 1101 番地

八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506

ホームページは [八幡浜市社協](#) まで



平成 28 年度
第 1 回

ふれあい・いきいきサロン
お世話人研修会



平成 28 年 6 月 30 日（木）、13 時 30 分から 15 時 30 分まで、八幡浜市民スポーツセンター 2 階サブアリーナにて、「平成 28 年度ふれあい・いきいきサロン事業 第 1 回お世話人研修会」を開催しました。
各サロンのお世話人を中心に、サロン参加者や地区社協会長など 183 名の方々にご出席いただきました。



訂正のお知らせ「新たな支え合いセミナー」会場変更

社協だより 62 号（平成 28 年 7 月 1 日発行）に掲載いたしました標記セミナーの会場を変更しましたので、お詫びしてお知らせいたします。

ゆめみかん

（八幡浜市保内町宮内 1 番耕地 118）



JA にしうわ会館 5 階スターホール

（八幡浜市江戸岡 1-12-10）

平成28年度 第1回お世話人研修会 はつらつ介護予防体操 新バージョン、実践!

ふれあい・いきいきサロンでは、はつらつ介護予防体操など様々な活動を通して、介護予防にも取り組んでいます。

はつらつ介護予防体操って?

平成21年に策定された「八幡浜市健康づくり計画」の話し合いの過程で、市民の代表である「おたっしや部会」が、「介護予防10か条」を作りました。

平成23年度には10か条に合わせた曲(日土 萩森健氏)と体操(体操指導者 西野美恵氏)が考案され、現在、市内の高齢者が元気に地域で暮らし続けるために、健康づくりの一端を担っています。

今回のお世話人研修会では、はつらつ介護予防体操が誕生して数年が経過した今、体操考案者である西野美恵氏により、新たに考案された4つのバージョンの披露と伝達を行いました。

上半身編・下半身編

これまで推進されてきた体操は、立位もしくは座位にて全身を使って行うものでした。今回学んだ体操は、上半身のみもしくは下半身のみを使うため、足腰の弱った方でも取り組みやすい体操となりました。

音楽に合わせたリズム体操

音楽に合わせて、2人1組もしくは隣に座っている方と行うリズム体操では、時々間違った動作をしてしまうと笑顔になります。西野先生「間違えても良い!歌を歌いながら行うと認知症予防にもなりますよ」

足踏みと腕振り!

最後の1つは、音楽が鳴っている間座った状態でひたすら足踏みと腕振りを行うものでした。普段聞き慣れた音楽も、運動中はなかなか終わりが見えず苦しい表情も見えましたが、参加者の皆さんは必死に取り組みしていました。

西野先生より、「無理は禁物。しんどくなったら休み休みやってくださいね」との声掛けを受けながら、楽しく学ぶことができました。



西野先生と「はつらつ介護予防体操すすめ隊」メンバーによる実演

「アンケートより抜粋」

- とてもよく分かり、身体を動かすことの大切さを感じました。これから家でもやってみたいと思います。
- いろんな利用(工夫)方法があり、脳トレにも大変役立つことが理解できました。

他のサロンの取り組みを知ろう

研修会後半は、他のサロンでどのよ

うな活動が展開されているのかを知るため、代表お世話人より報告を行いました。

■どんぐり(松蔭地区) 井櫻さん

四国電力のIHクッキングへ参加したきっかけやメンバーの感想。

■琴平さくら会(川之石地区)山崎さん

消防署職員による救急救命講習の広がりや感想。

■にこにこ(喜須来地区) 河野さん

男性を巻き込んだサロン展開のコツ。(約半数が男性メンバーのサロン)

■花あそび(神山地区) 小野さん

年数回3つのサロンが合同で開催することの意義とお世話人としての思い。

地区社会福祉協議会会長からもあたたかな発言をいただきました。

■日土地区社会福祉協議会 中野会長

サロン活動による地区への波及効果等感想。「住み慣れた地域で暮らし続けるために、大切な活動」

■千丈地区社会福祉協議会 上協会長

地区社協を挙げてサロンを展開してきた想いと取り組みについて報告。「その地域の住民の生活や置かれた状況に配慮した支援」

市内65カ所のサロンの取り組みは様々ですが、交流や広報紙(サロン通信)の発行により情報共有を図りながら、「楽しく・気軽に・無理なく」活動を推進します。



高知市→八幡浜市へ 四国地域福祉実践セミナー

四国地域福祉実践セミナーは、四国4県での地域福祉の取り組みを報告し学び合い、向上すること目的とし、お遍路にあやかり、各県持ち回りで開催されています。14回目を迎えるセミナーは高知市で開催されました。(平成28年7月2日～3日)四

国のボランティア、地域福祉を推進する人・団体、大学、施設、社協等総勢500名が参加されました。「試される『チイキノチカラ』くすすめよう『ほおつちよけん』のまちづくり」八幡浜市からは社協理事・評議員、民生児童委員、後見支援員、ボランティア、社協職員合計21名が参加しました。

基調講演では、高知市長 岡崎誠也氏から、子どもたちが運営する「とさつ子タウン」やまちぐるみによる「生活困窮者支援」を報告され、住民・行政・関係機関との連携の効果をお話されました。セミナーを通じて、この四国でも、子どもの社会的・経済的な貧困が多くみられ、それに取り組んでいる人たちが沢山います。また福祉におけるケアの考え方を見直すこと、多様性を認め合う地域社会の実現、住民と行政との協働の構築、求められる社協の役割を学ぶことができました。都築江戸岡地区社

協会長「四国の各団体がそれぞれがんばっていると感じました。八幡浜市でもよりよい地域福祉の取り組みを目指します」

高知市よりバトンタッチを受け、平成29年7月22日～23日、八幡浜市で第15回四国地域福祉実践セミナーを開催します。民生委員創設100周年、愛媛国体など大きな節目の年に、愛媛で四国内外の人をお出迎えられるよう、取り組んでいきます。



交流会では、来年のセミナーをアピール

「明日食べるものがない」「10年働いていない」方へ必要な支援と資源を考える

平成28年6月15日(水) 14時～16時、八幡浜市保健福祉総合センターで、自立支援計画調整会議を開催しました。八幡浜市役所生活保護、障害福祉、ひとり親福祉、地域包括支援センターと社協で会議は構成されています。当日は、オブザーバーとして、民生児童委員と精神科医に出席していただきました。

各市町村で実施されている生活困窮者自立支援制度は、生活保護に至るおそれのある方・世帯に、自立相談支援事業が中心に寄り添う制度です。八幡浜市では社協が受託し、平成27年度は32件の新規相談を受け、民生児童委員等地域住民とのつながりの回復、就労活動の支援(ハローワークへの同行、面接の練習、定着支援)、行政・福祉サービスや法律の制度を利用する支援を展開しています。当事者と相談員、関係機関にてプランを策定し、計画的に、そして早期に生活困窮を脱却することを目指すことが大きな特徴です。本会議でプランの承認、実施したプランの評価、プランの見直し、支援の最終決定します。それぞれの立場で、できる支援を持ち寄ります。当日は3つの事案が協議され、新規プラン・継続プランが承認されました。



プランをつくる都度、会議を開催

明日食べるものがない、仕事に就けない方が、税金を滞納しているため、既存の貸付事業を利用できないことが少なくありません。障がい(知的・精神・発達)の可能性のある当事者への支援のありかた、食糧支援の必要性、長期離職している方への段階的な就労の機会と場の提供など、個別支援を通じて、地域に不足する資源がみえてきました。今後、多くのオブザーバーを招いて検討していきます。

平成 27 年度 八幡浜市 社会福祉協議会 事業報告

八幡浜市社会福祉協議会では平成 27 年度、事業計画および予算に基づき、関係機関、各種福祉団体等の協力を得ながら、多岐にわたる福祉活動を本所・支所・事業所との連絡を密にし、それぞれの役割分担を明確にした上で地域福祉の推進と在宅福祉サービス向上に積極的に取り組みました。

取り組みの内容について、ご報告します。

事業の 実施状況

A 法人経営の基盤整備の推進

- 理事会等各種会議の開催
- 八幡浜市社会福祉大会の開催
- 社協会員の加入促進と適正な運営
- まごころ銀行預託金の確保と活用
- 共同募金運動の推進（赤い羽根・歳末たすけあい）
- 職員研修・資質の向上

B 地域福祉活動の推進

第 2 次八幡浜市地域福祉活動計画に沿って：

- 地区社会福祉協議会会長の開催
- 第 3 次八幡浜市地域福祉活動計画策定に向けた座談会の開催
- ふれあいいきいきサロン事業（64ヶ所）
- ふれあい子育てサロン（12ヶ所）
- 独居高齢者等見守りネットワーク事業

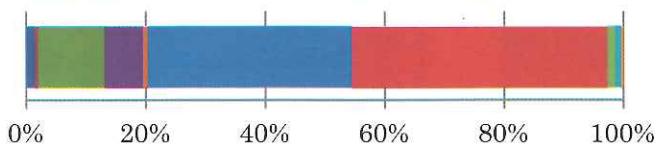
- 市社協だより、地区社協機関誌発行
- 給食サービス事業（14 地区社協で実施。原則 75 歳以上の高齢者。86 回 7783 食）
- 八幡浜市ボランティア協議会の活動促進・支援
- 第 28 回福祉のつどい
- 各種ボランティア養成講座（手話奉仕員、精神保健ボランティア、朗読（音声訳）ボランティア（中級）、点訳ボランティア（中級）、傾聴ボランティア）・研修会の開催及び参加
- 南予地域ボランティア交流会開催
- ボランティアグループの育成援助（共同募金受配）
- ボランティア・ワークキャンプ開催
- 福祉教育体験学習の実施
- 盲導犬教室
- ボランティア活動保険及びボランティア行事用保険の加入
- 共同募金運動、歳末たすけあい運動に対する協力
- 児童・青少年福祉活動援助
- 母子・寡婦・父子活動の推進
- 手話通訳派遣事業の実施および研修会開催
- 障がい者スポーツ大会の開催
- 浜っこふれあい広場への支援
- 障害者料理教室の実施
- サロン化へ向けた支援活動
- 社会福祉関係機関、団体との連携強化

C 権利擁護の推進

- 八幡浜市権利擁護センター事業の運営
- 相談対応
- 研修会・会議等の開催（専門員・生活支援員・後見支援員研修会、虐待防止セミナー、地域福祉活動推進研修会、市民後見人養成講座（基礎編））
- 普及啓発（制度説明・活動報告等）
- 法人後見事業の実施
- 福祉サービス利用援助事業の実施
- 災害見舞金給付事業の実施
- 生活福祉資金貸付事業の実施
- 小口資金貸付事業の実施
- 心配ごと相談所による相談事業の推進（専門相談：年 28 回 88 件、一般相談：年 36 回 23 件）
- 職員の資質向上および普及啓発
- 八幡浜市生活困窮者自立支援促進モデル事業の実施
- 主任相談支援員、相談支援員、就労支援員の設置
- 相談対応
- 支援調整会議の開催
- 研修会の開催（生活困窮者支援フォーラム、自立支援事業を語るろう会 他）
- ネットワーク構築に向けた取り組み（市就労支援から考える地域づくりを考える会準備会、南予地域就労支援ネットワーク会議への参加、食糧支援に関する連携）

平成 27 年度 八幡浜市 社会福祉協議会 決算報告

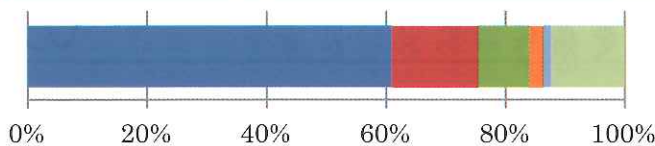
収入



■ 会費	6,731,745円
■ 寄付金	2,163,145円
■ 経常経費補助金	48,991,443円
■ 受託金	28,792,590円
■ 貸付事業	138,930円
■ 事業	3,308,490円
■ 介護保険事業	151,438,372円
■ 老人福祉事業	189,964,000円
■ 障害福祉サービス等事業	5,663,590円
■ 受取利息配当金	65,795円
■ 積立資産取崩	4,442,300円
■ その他	1,643,658円

収入合計 443,344,058円

支出



■ 人件費	301,473,421円
■ 事業費	72,132,969円
■ 事務費	42,211,101円
■ 利用者負担軽減額	194,659円
■ 貸付事業	144,930円
■ 共同募金配分金	11,165,548円
■ 助成金	6,698,564円
■ 固定資産取得	348,000円
■ 積立資金	61,068,294円

支出合計 495,437,486円

D 在宅福祉サービスの推進

- ・ 介護保険事業の推進
- ・ 居宅介護支援事業
- ・ 介護予防給付ケアプラン策定等業務委託
- ・ 訪問介護事業
- ・ 訪問入浴介護事業
- ・ 通所介護事業
- ・ 短期入所生活介護事業
- ・ 障害福祉サービス事業
- ・ 居宅介護事業
- ・ 同行援護事業
- ・ 介護保険外・障害福祉事業の推進
- ・ 生活管理指導員派遣事業

- ・ 障害者訪問入浴事業
- ・ 福祉用具貸出（車椅子19件）
- ・ 生活支援・介護予防サービス事業
- ・ 介護予防教室通所事業（97日開催、延1294名利用）
- ・ 若草デイサービス事業（137日開催、延べ1443名利用）
- ・ 通所型介護予防事業
- ・ 第1クール（14回実施、16名参加）
- ・ フォローアップ教室（6回実施）
- ・ 地域版介護予防教室事業
- ・ 宮内清水町地区（8回実施、延141名参加）
- ・ 舌間地区（5回実施、延べ91名参加）

E 施設サービス部門

「養護老人ホームの管理・経営」「湯島の里・あけぼの荘」

- ・ 生活支援コーディネーター事業
- ・ アクティブシニアボランティア養成講座の開催（6回開催、22名参加）
- ・ 協議体準備会の開催
- ・ 地域資源の把握
- ・ 説明会・研修会、関連事業や活動への参加及びネットワークの構築



精神保健ボランティアグループ「はまかぜ」のみなさんに講座の魅力をお聞きしました

はまかぜって？

平成6年に精神保健ボランティア養成講座を受講した有志が、自分たちでできることをしたいと考え、修了したその日から発足に向けて動き始め、平成7年2月に発足。

八幡浜に吹く浜風のように、心地よい風を吹かせたい。当事者の方が気持ちよく、気軽に参加できる環境を作りたい。参加した方にやわらかく関わっていききたい。そのような思いからはまかぜと命名。昨年、発足20周年を迎えた。現在、会員は56名。主な活動は、精神障がいのある方も、ボランティアも、気軽に集まって交流をする場「すいせんクラブ」は「はまかぜクラブ」を毎月開催。精神障

がいのある方が地域行事に参加する機会として、また、はまかぜの活動を地域の方に知ってもらう機会にと、てやて踊り競演大会に出演。そのほか、関係機関の諸行事に参加協力している。



特別養護老人ホーム ことぶき荘の盆踊り大会でジュース等の販売のお手伝い

Q 精神保健ボランティア養成講座(以下「講座」)を受講したきっかけを教えてください。

入口 社協の開催するボランティア養成講座のうち、どれか一つを受けてみようと思ひ、申し込みました。

武田 勤めていた職場を退職し、地域のためにお手伝いしたいと思

ていました。身近に心を病んでいる友人がいたため、病気や障がいについて勉強したかったからです。

西田 以前社協に勤めていたこともあり、様々な分野の団体との関わりの中で、この講座のことは知っていたので、申し込みました。病気や障がいについてなにも知りませんでした。なにかしてみたいという気持ちがあり、友人からの勧めで受講しました。

Q 受講して感じたことや、印象に残っていることを教えてください。

入口 内容はどれも初めてのことばかりで、保健所や病院など、精神障がいのある方に関わる方がたくさんいること、障がいのある方を取り巻く広い世界があることにとても驚きました。

武田 講座を通して、障がいについて知ったからこそ、障がいのある方のよき理解者になれたと思います。また、自分の周囲の知らない人に学んだことを伝えることができています。

西田 当時の病院の格子窓を見て、障がいのある方に怖いイメージを持っていましたが、講座での学

びや、作業所・病院での体験を通して、自分の中の偏見に気づかされました。

Q これから講座を受講される方にメッセージをお願いします。

西田 当事者の方にお会いしてふれあううちに、自分たちと一緒に悩んだと感じ、障がいのある方への理解が深まりました。また、精神疾患ががんや糖尿病などと並んで五大疾病になっており、今は現代病として、誰もがなり得る病気だということが分かりました。少しでも多くの人に受講してもらい、まずは知ってもらいたいと思います。

入口

当事者の方とのふれあいを通して体験、病院の先生からのお話など、普段の暮らしでは見聞きできないことが経験できます。講座を受講して現実を知るだけでも受ける価値があります。できれば、はまかぜに入会いただいて定期的につながり、精神障がいのある方との橋渡し役になってもらえることを願っています。

平成28年度 精神保健ボランティア養成講座

誰もが安心して暮らせる八幡浜に いま、自分ができること



障がいのある方の「地域で安心した暮らし」を支える応援者を養成する講座です。
統合失調症をベースとした精神疾患への理解を、施設体験や当事者との交流を通して深める内容です。自分のできることを実際に地域に役立ててみませんか？一人ひとりの"できた"がこれからの八幡浜を支えます。

- **日 程** 平成28年 **9月27日(火)~12月22日(木)** (全**6**回)
- **会 場** 八幡浜みなと みなと交流館(八幡浜市沖新田1581番地23)
- **内 容**
 - ① 09/27(火) DVDを見ながら障がいのある人の施設での生活を知る
 - ② 10/26(水) カローリング(軽スポーツ)を通じた当事者との交流会
 - ③ 11/08(火) 地域で生活する当事者の声を聴く
 - ④ 11/29(火) 精神科病院のドクターから病気と障害について学ぶ
講師：医療法人 青峰会 くじら病院 寺本 辰之 先生
 - ⑤ 12/13(火) 病院のワーカーから、地域における当事者の生活のしづらさを学ぶ
 - ⑥ 12/22(木) 精神保健ボランティアグループ はまかぜの体験発表と交流会
 - ※ 09/28(水)~11/30(水) 作業所と病院のデイケア等の2か所の体験学習あり
- **対 象** 市内に在住・在勤の方で、ボランティアに興味のある方
- **受講料** 無料
- **定 員** 20名

■ **お申込み方法**
8月31日(水)までに八幡浜市社会福祉協議会
 (TEL：23-2940)までお電話ください。

第4回赤い羽根共同募金チャリティパーティを開催します！

八幡浜市共同募金委員会では、みなと交流館と共催で平成25年度より赤い羽根共同募金のチャリティパーティを開催しています。今年度も、第4回目のパーティを開催いたします。

日頃から八幡浜市の共同募金運動にご協力いただいている皆さまに感謝の気持ちをこめて開催します。昨年同様、収益金の一部は赤い羽根共同募金へ寄付されます。興味を持っていただいた方は、ぜひご参加ください！

これまでの実績

	第1回	第2回	第3回
チケット購入者	127名	152名	159名
当日参加者	116名	146名	151名
寄付金額	153,743円	155,366円	162,253円



お問い合わせ先

八幡浜市社会福祉協議会 地域福祉課
☎ 0894-23-2940

- **日 時** 平成28年9月9日 (金)
- **時 間** 19:00~20:30
- **参加費** 2,500円
- **参加対象者** 事前にパーティ参加券を購入していただいた方
- **主 催** 八幡浜市共同募金委員会
みなと交流館

市民後見人養成講座（基礎編）

市民後見人とは

認知症や障がいなどにより判断能力が低下した方のお金の管理や福祉サービスの手続きを支援する市民です。

市民後見人になるには

基礎編の全ての講座を受講後、応用編を受講できます。応用編を受講された後、後見人材バンクに登録します。

受講後の活動は

基礎編を修了された受講生は、社会福祉協議会の後見支援員として、後見活動に取り組むことができます。

■ 日 程

平成 28 年 9 ・ 10 月（5 日間 15 時間）

日程等詳細については、受講希望者へお知らせします。なお、詳細が決定次第、ホームページにも掲載いたします。

■ 内 容

弁護士、社会福祉士、介護支援専門員、障害者相談支援専門員、後見支援員などによる講義形式、受講生同士の話し合い 等

■ 対 象 者

- ① 八幡浜市民または八幡浜市内に勤務する方
- ② 成年後見制度を学びたい方・認知症や障がいのあるご家族を支えている方

■ 定 員

20 名

■ 費 用

無料

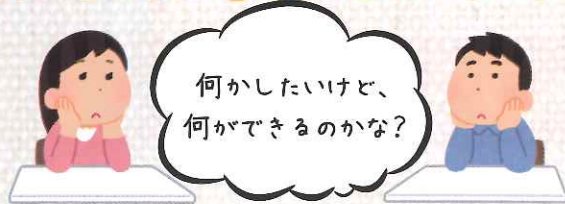
■ 申込方法

下記問い合わせ先まで電話にてお申込み下さい。

■ 申込締切

平成 28 年 9 月 12 日（月）

アクティブボランティア養成講座のご案内



そんな想いを胸に秘めている方、大募集！
5 年後、10 年後も住み慣れた地域で、安心して、いきいきと暮らせるまちづくりを目指して、地域活動の担い手を養成することを目的に、講座を開催します。興味関心のある方、どなたでも受講できます。



昨年は 22 名の参加を得て、ワークショップ等を通して楽しく学びました。

■ 日 時 平成 28 年 9 月 28 日（水）～
全 5 回実施

■ 場 所 八幡浜市保健福祉総合センター 4 階
多目的ホール

■ 内 容 高齢者の生活、認知症、介護等の専門家を講師に、地域で支え合いながら生活していくための知識や技術、仕組みづくり等を学び、地域活動の担い手を養成します。

■ 対 象 者 八幡浜市在住または八幡浜市内に勤務されている方。

■ 定 員 20 名

■ 費 用 無料

■ 申込方法 下記問い合わせ先まで電話又は FAX にてお申し込みください。

■ 申込締切 平成 28 年 9 月 20 日（火）

【両講座主催・申込】

八幡浜市社会福祉協議会 地域福祉課

〒796-0010 八幡浜市松柏乙1101 番地 八幡浜市保健福祉総合センター 2 階
電話：0894-23-2940 FAX：0894-23-0506